



ハトダヨ  
2022年  
1月号

函館市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL 35-5500 FAX 35-5525



函館市中央図書館だより

第68号 令和4年1月4日 発行

## 予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介  
します。こちらを参考に読みたい  
本を探すのも一つの方法です。

令和3年12月24日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

- |    |                         |          |
|----|-------------------------|----------|
| 1  | 白鳥とコウモリ                 | 東野 圭吾／著  |
| 2  | 透明な螺旋                   | 東野 圭吾／著  |
| 3  | 52ヘルツのクジラたち             | 町田 そのこ／著 |
| 4  | 北緯43度の<br>コールドケース       | 伏尾 美紀／著  |
| 5  | 琥珀の夏                    | 辻村 深月／著  |
| 6  | ミカエルの鼓動                 | 柚月 裕子／著  |
| 7  | ブラック・ショーマンと<br>名もなき町の殺人 | 東野 圭吾／著  |
| 8  | 硝子の塔の殺人                 | 知念 実希人／著 |
| 9  | にぎやかな落日                 | 朝倉 かすみ／著 |
| 10 | 小説8050                  | 林 真理子／著  |

## 図書館俳句ポスト受賞者

9月に図書館俳句ポストへ応募された中から  
選ばれた作品です。お題は「芒(すすき)」。

入選  
一とときの地球人なり草の花  
秋声や弥勒菩薩の長い耳  
白桃に小さき遺影の隠れけり  
やわらかきまんじゅうと  
吾子の手とすすき  
みちのくの穂すすきの海まなうらに  
赤とんぼの字くの字の老母の背  
ほろほろとすくつてみたい秋入日  
佳作  
芒待つ一升瓶に水を入れ  
父と子の紙飛行機や花薄  
昼の月涼し飛行機雲の上

高桑裕子  
青屋黄緑  
吉田みね子  
練合陽子  
田川管子  
笹島和子  
小瀬川聖子  
安福巖  
村田涼音  
中野良子

## 函館市中央図書館 郷土の歴史講座

### 函館アイヌ学校を紐解く～写真史料で

### 振り返る近代アイヌ教育史

令和4年1月29日(土) 14:00～16:00

函館市中央図書館 1F 視聴覚ホール

詳細は館内ポスター・チラシをご覧ください。



ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

棚：B1-B5  
請求記号：Y486.1 アリ

### タイトル：「きらいになれない害虫図鑑」

著者：有吉 立 出版社：幻冬舎 (2018年7月)

子供のころはそんなに虫が嫌いではなかったはずなのに、大人になってあまり虫に触れる機会がなくなると、前より苦手になっていたりしませんか？しかも害虫となればちょっと出会いたくないのですが、この本は写真とかは載っていないのでまだ安心して見られて、ためになるというか、視点が変わっている気がします。そしてコラムがおもしろいです。人生いろいろ、虫もいろいろだなあと思う一冊です。

棚：児 20  
請求記号：727 タニ

### タイトル：「文様えほん」

絵/訳：谷山 彩子 出版社：あすなろ書房 (2017年9月)

漫画『鬼滅の刃』の人気で、登場人物の羽織や着物の柄を至る所で見かけるようになりました。その柄に興味を持ったお子さんも多いのではないのでしょうか？

この絵本には、植物・動物・自然から生まれた文様、季節の文様、外国との交流によって生まれた文様など300種が、かわいいイラストとともに紹介されています。どこかで見たことがあるものや、こんなものまで文様になるの？というのもあるって、当時の人の発想力に驚かされます。絵本のように町の中を探してみたり、お気に入りを見つけるのも楽しいですね。

棚：A35-A36  
請求記号：748 イノ

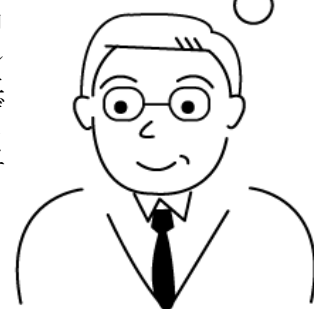
### タイトル：「Look at me！」

著者：井上 浩輝 出版社：KADOKAWA (2020年11月)

キツネ好きスタッフがおすすめするキツネメインの写真集第二弾です。第一弾は昨年ハトダヨをご覧ください！なんととってももう載っているキツネがみんな可愛いんです！あどけない姿や、やんちゃに遊ぶ姿。豊かな表情をカメラ目線に向けてくる様子は、撮影者の井上さんに何か言いたげです。まるでカメラ越しに彼らと会話をしているような気分になる写真が多く収められています。他にも、エゾフクロウやアルビノのエゾリスなど、野生動物たちの一瞬を切り取った写真は、彼らの日常をのぞき見しているかのよう。北海道の四季の風景も美しく、大自然の中で生きる彼らの感情、物語が伝わってくる写真集です。

## 館長随想（六八）

本年も図書館をどうぞよろしくお願い申し上げます



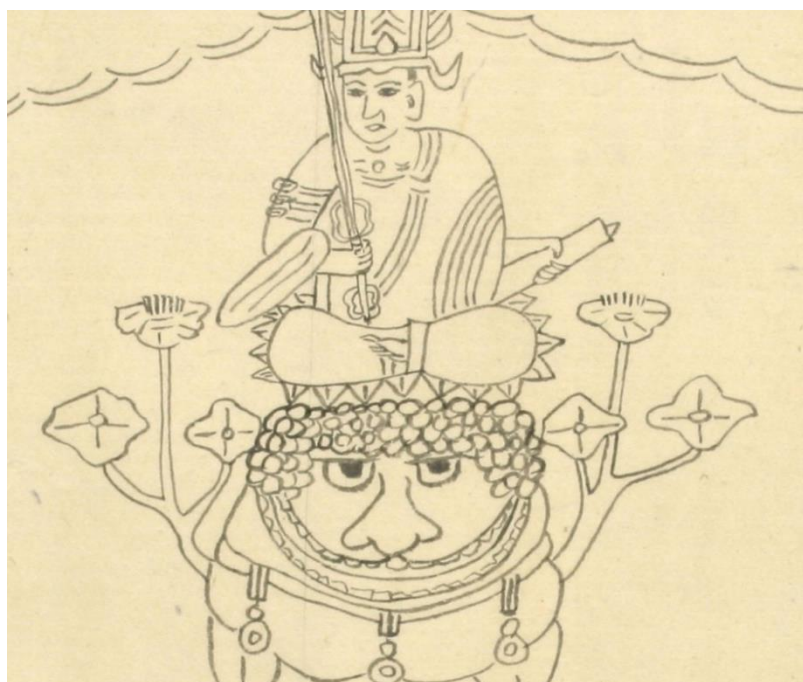
新型コロナウイルスの感染拡大の中で2度目のお正月を迎えました。中国では感染が2019年の秋には始まっていたといいますが、私たちが認識したのは一昨年の1月だったと思います。日本でも感染が広まり、一昨年の3月には日本中のほとんどの図書館はいつせいに休館し、函館でも休館を余儀なくされました。昨年も感染が広まった春から夏にかけて休館する図書館が多かったのですが、函館の図書館は新型コロナでの休館はしませんでした。札幌、旭川に比べ函館は感染者が少なかつたとはいえかなりの感染者が出ましたから、不安を抱えながらの開館が続きました。

新型コロナウイルスは、私たちに図書館サービスとは何だろうという根源的な問題を突きつけました。私は図書館に勤務してからずっと、図書館に来てください、図書館ではゆっくり過ごし、本をもっと借りてくださいと言ってきました。しかしこの2年間は、必要がなければ図書館にはお越しにならないでください、本は手早く選んで早くお帰りください。と、全く逆のことを言わなければなりません。それでも、新型コロナウイルス発生前に比べ、来館者は8割、貸し出し冊数は9割まで回復しています。来館者数の減少に比べ貸出数の減少幅が小さいのは、目的なしに来られる方は減り、本を借りたい人はやはり図書館に来ていただいているのだと思います。

まだまだ予測が困難なコロナ禍ですが、今年が良い状態になっていくのではとの期待があります。しばらくは感染対策を行い、収束に向けて出来ることをしていき、そして気兼ねなく図書館を利用し、皆で会食できる年にしていきましょう。

# デジタル資料館 紹介

新羅大明神御縁起 下 (1810669588)



松前藩二代藩主・松前景広が正保4（1647）年に編纂。著者の快安は景広自身とされている。

上巻は新羅大明神が京都の三井寺に祀られるまで、中巻は源義光（新羅三郎）から武田氏までの系譜と事績。

下巻は歴代松前藩主の事績や新羅大明神を勧請した経緯が語られ、アイヌの戦いについても描かれている。

へたうまな挿絵の新羅大明神が微笑ましい。

（参考：北海道の文化 vol.91）



# 赤ちゃん絵本コーナーリニューアル!

子育て中のお父さん・お母さんや孫育て中の方から、

「赤ちゃんにどんな絵本を読ませたらよいかわからない」という声を

多数いただきましたので、0・1・2歳向けの絵本を集めた

《赤ちゃん絵本》コーナーをリニューアルしました。



赤ちゃん絵本コーナーでは…

- ① どうぶつやたべものなど、生活に身近なもの
- ② ことばのリズムや響きでいっしょに楽しめるもの
- ③ かんたんなくりかえしの分かりやすい物語絵本
- ④ 絵がシンプルで印象に残りやすい作品

のほか、あいうえおや数字の勉強のための《知育絵本》や、はみがきやトイレトレーニングなどの《しつけ絵本》など約200冊を取り揃えております。

また、「世界の名作」「日本の昔話」などなじみの深い絵本作品も別棚に揃えておりますので、ご来館の際にはぜひ一度ご覧下さい。



～お子様向けイベント開催中～  
《としょかんスタンプちょう》



昨年の夏休みから始まった「としょかんスタンプちょう」ですが、見事100冊達成した方や、配布以降に図書館に来られた方のために冬休みバージョンを用意しております。まだ持っていない方はお気軽にお声かけ下さい。

《ヨムちゃんをさがせ in ゆのかわ》

図書館のマスコット「ヨムちゃん」が図書室の中にかくれています。10人のヨムちゃんをさがせるかな? (2022年1月13日まで開催予定)

お問い合わせは  
湯川図書室まで

TEL: 57-4120

